

2011センターテスト（B・本試験）解説 【2011.12.改訂】

△は特に易しい、▼は特に難しいと思う小問。あくまで個人的感想ですが。

第1問 例年通りテーマ史。また昨年に続いて会話形式。灯りの歴史だから明里（あかり）

さんと光男くんなのね、ってどうでもいいか。常識を必要とする問題が目立った。

△問1 収穫に感謝＝新嘗祭、東大寺＝盧舎那仏、という基本でOK。

問2 I. 平将門の乱で10世紀、II. 平氏政権は12世紀、III. 公営田は9世紀。

問3 ②俵物は近世（江戸時代）。

▼問4 楮は和紙の原料。1874年では電灯にはまだ早い。「燃料切れせず」は悪いヒント。

問5 紡績も製糸は女工中心。3交代制なら労働時間は8時間になり（24時間だもの）、今の労働環境とあまり変わらない、と高校生（受験生）が分かるか？

問6 ②猪苗代は水力発電。というか、火力発電なら遠方に作って送電する必要はない。

③原子力発電と原子爆弾は同じ原理と知っているかどうか。

④第二次石油危機はクエート侵攻ではなくイラン革命。こっそり戦後史が入っている。

第2問 古代の政治と宗教。

△問1 ちなみに読み方は「ふとまに」と「くがたち」。

問2 銅鏡や碧玉製腕飾りは司祭者的。群集墳は有力農民の墓。

△問3 庶民の家は乙しかありえないし、丙には塔がある。これ、日本史の問題か？

問4 史料はもちろん墾田永年私財法。③は2つの法律の時代順序が逆だし、史料に「三世一身を論じることなく」ともある。

問5 ①空海が渡唐していないなら真言宗はどこから持ってきたの？

②最澄の弟子なんだから天台宗だろう。③鑑真是奈良時代（8世紀）。

問6 Iは寄進地系荘園の始まり、IIIは初期荘園の衰退、IIは僧兵で院政期以降。

第3問 中世の政治・文化・社会

問1 白水阿弥陀堂があるのは福島県いわき。別当は政所や侍所などの長官。

▼問2 「頼朝による」とあるから、六波羅探題ではなく京都守護。問いの文に正誤判定の根拠が書かれているという、受験生が見逃しやすい設問形式。

△問3 また出た！東アジア外交地図。しかもこの地図は2006年本試験とほとんど同じだし、Xも同じ寧波の乱で、ちょっと呆れた。過去問をやっておくと得をするよ、という教訓にはなるが。 Yは対馬。ちなみにdは那覇だが、aは青島か？（笑）

問4 掛屋は江戸時代の蔵屋敷関係の役職。徳政令で流通が円滑になるわけもない。

問5 問いの文に「戦国時代から」とあるから、②（東西の市は古代の平安京）、③（花の御所の「創建」は当然室町時代の前期）は時代で×。①聚楽第は秀吉が建設。

問6 鳥獣戯画は院政期文化、日光東照宮は江戸初期文化、狩野永徳は桃山文化の作品。

第4問 中世の政治・文化・社会

▼問1 18世紀末であるから田沼意次より松平定信。ただ、なまじ林子平への弾圧などの知識があると、松平定信が対外危機を持っていたと思えないかもしれない。 逆に、定信が吉宗の孫である逸話

を知っていると、「享保の改革を理想とした」を思い出すかも。余談も大事です。

宝暦事件は竹内式部ら尊王派公家が処罰された事件であり関係がない。

問2 フェートン号事件が一因となって打払令が出されたが、アヘン戦争の結果を知って強行方針を改め、天保の薪水給与令を出した。鉄板と言っていい問題。

問3 ①長崎での貿易は清とオランダだけ。朝鮮との貿易は対馬の宗氏が管轄。

③寛政期は鎖国令が次々と出された時期。朱印状は日本の船に出された渡航許可証。

④オランダ国王の親書ではなく、オランダ風説書。

問4 いわゆる「だれも知らない史料」問題。よって、知らなくてもちゃんと解ける。

問5 Y. 閑谷学校には庶民も入学できた。藩学じゃなくて郷学だし。

問6 a. キリシタン版の活字印刷は、時期は近いが、朝鮮から奪った活字印刷とは違う。

キリシタン版は、授業中に写真で見たように(当然だけど)アルファベット。

d. 杉田玄白はシーボルトより時期が古い。玄白がシーボルトの弟子なら、『解体新書』を自力で作る必要がないだろう。

第5問 近現代史。「人物シリーズ」は、尾崎行雄→幣原喜重郎→渋沢栄一とその孫と来て、今年は金子堅太郎。やはりシリーズ化しそうだ。ただし、明治憲法関連の出題すらないとは、何のために金子を使ったのか分からず、個人的には気に入らない。

▼問1 X. 長州が伊藤博文たちをこっそり留学させていたことは授業で話した。幕府もイギリスやフランスなど（パリ万博があった）に留学生を送っているが…。

Y. 『自由之理』は中村正直による英ミルの翻訳。中江兆民ならフランスのはず。

▼問2 ③財閥がコンツェルン体制を形成したのは20世紀に入ってから。ちょっと酷な問題。

他の語群がいずれも正しいので、そこから消去法で残せるかどうか。

▼問3 そもそも八幡（北九州）が鉄工場に選ばれたのは、背後に筑豊炭田があったから。ただし、のちに満州からも石炭を運んだが、それは撫順炭田で大連ではない。

問4 ①大隈が最初の政党内閣を作ったのは、立憲政友会の成立前。与党は憲政党。

②倒閣に成功したのは政友会と国民党。 ③憲政会→立憲政友会。

第6問 近現代の経済社会。今年は戦後史が多かった。

問1 ア. 地方改良運動は思い出せなくても大同団結運動ではないことがわかれば。

問2 ちなみに、志賀潔は赤痢菌の、鈴木梅太郎はビタミンの発見で有名。

問3 （戦後恐慌→）震災恐慌→金融恐慌→昭和恐慌の流れでOKのはず。

問4 ウ. いわゆる高橋財政。エ. 日英同盟はすでにワシントン会議（大正）で廃止。

▼問5 a・bは、グラフより日銀券の減少が読み取れる。c・dは、ドッジラインの年代（1949年）を覚えていればグラフから読み取れるし、そもそもドッジラインの意義（インフレ抑制）を知っていれば「インフレがさらに加速」はないと判断できる。が、ちょっと難しい。

問6 ②沖縄返還に合意・成立したのは佐藤栄作内閣。

問7 ①プラザ合意は1980年代で、これからバブル景気へとつながっていく。

②足尾銅山鉍毒問題は明治。

③破壊活動防止法は、独立回復直後の「血のメーデー事件」を契機に成立した団体規制法。

問8 X. ドルショックではまず金とドルの兌換が停止され、各国は変動相場制に移った。